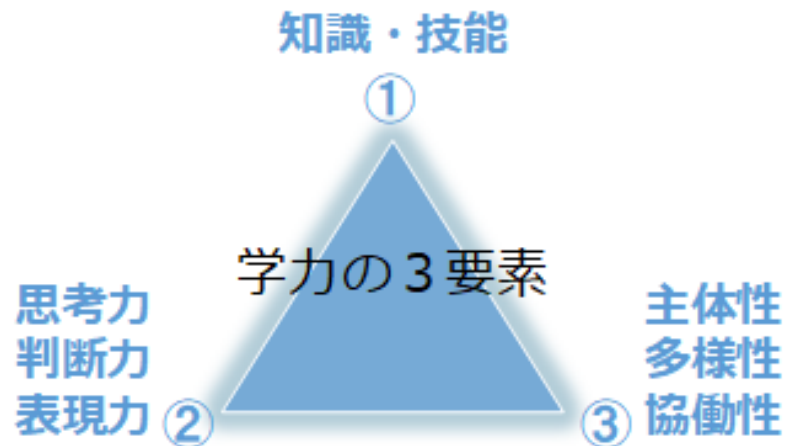


# 2020 年度からはじまる「大学入試制度改革」

**改革の目標** 急激な社会変化の中でも、未来の創り手となるために必要な資質・能力を備え、自立して社会に貢献する人材を育成する。

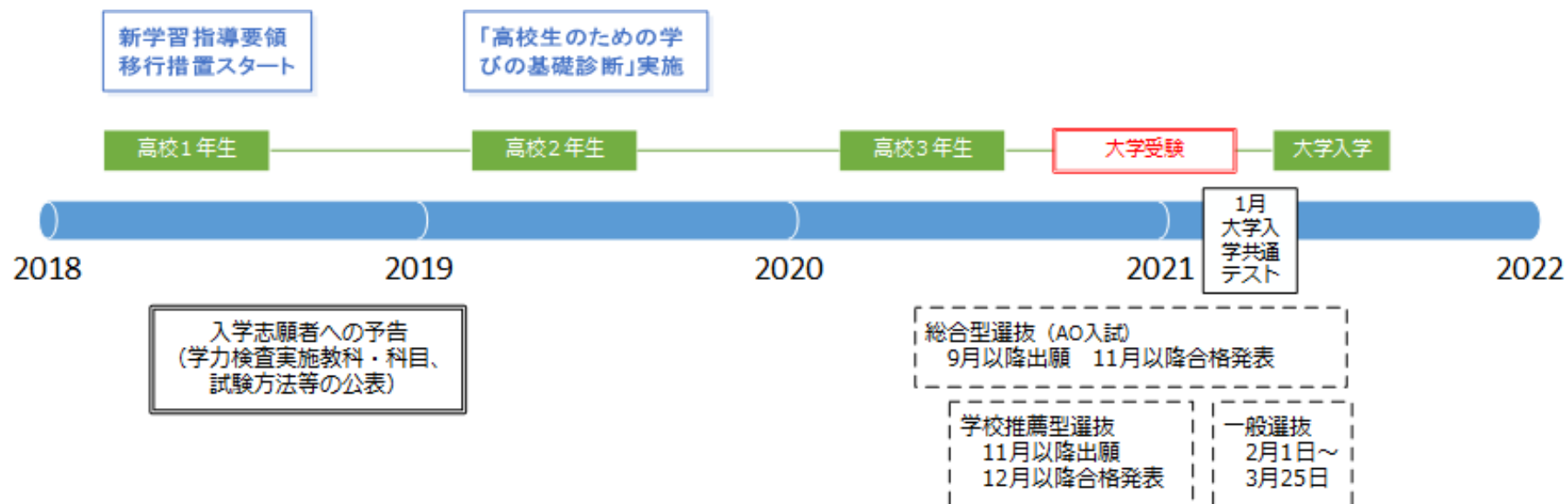
## 改革の概要

**「学力の3要素」**を多面的・総合的に評価する個別選抜へ改善



		評価方法
①知識・技能	思考・判断・表現の基本となるもの。	学力試験、小論文、 口頭試問、調査書、 資格・検定 など
②思考力・判断力・表現力	課題や未知の状況に対応できる力。	学力試験（記述式問題）、 小論文、口頭試問、 プレゼンテーション など
③主体性・多様性・協働性	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度。	部活動・ボランティア活動、 面接、集団討論、調査書、 志望理由書 など

# 改革のスケジュール



## 新たな入試区分

新たな区分・名称	従来の区分・名称	主な変更点、特徴
大学入学共通テスト	大学入試センター試験	マークシート式に加え記述式問題を出題。英語は「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を適切に評価するために民間事業者等の資格・検定も活用する。
一般選抜	一般入試	「思考力・判断力・表現力」を評価するために筆記試験に記述式問題を導入する。また「主体性・多様性・協働性」を評価するために面接、調査書や志願者本人の記載する資料等を活用する。
学校推薦型選抜	推薦入試	「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を適切に評価するため、調査書・推薦書等の出願書類や面接だけでなく、小論文、口頭試問、プレゼンテーション等を実施する。
総合型選抜	AO入試 活動報告入試	「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を適切に評価するため、調査書・エントリーシート・活動報告書等の書類提出や面接に加え、小論文、口頭試問、プレゼンテーション等を実施する。